

穴埋め（1 問 2 点合計 20 点）

答案用紙の空欄に書くこと。番号を間違えないように注意！

- [1] 資本主義的企業の利潤最大化行動と市場の競争状況とが揃った場合に、新技術は最初の革新的企業から同じ業界に属する他の諸企業へと  する（ヒント：漢字二文字。広まっていくという意味）。

普及

- [2] 市場に影響を及ぼすのは支払能力と支払意志とに裏打ちされた需要である。これを  需要と言う。

有効

- [3] 新生産物を開発する技術革新がプロダクトイノベーションと呼ばれるのに対して、生産過程を変革する技術革新は  イノベーションと呼ばれる。

プロセス

- [4] 高い強度の労働のインセンティブになる賃金形態は、一般的に言うと、 賃金である。

出来高

- [5] 商業資本の社会的意義は  費用を削減するという点にある。

流通

- [6] 定期的収入をもたらす資産を割引利率で除して理論上の価格を得ることを資本  とする。

還元

- [7] 市中銀行が他の市中銀行等の民間金融機関から資金供給を受けることができないような場合に現金を貸すと場合の中央銀行の役割を  の銀行（あるいは最後の貸し手）と呼ぶ。

銀行

- [8] 【計算問題】以下はある社会におけるケーキの需要表である。

価格	需要量
100 円	6 万個
200 円	5 万個
300 円	4 万個
400 円	3 万個
500 円	2 万個
600 円	1 万個
700 円	0 個

ケーキ 1 個あたりの平均費用を 300 円と考え、かつ、規模に関して費用一定（何個作っても費用が変わらないということ）を想定する。この市場で完全独占が成立していると仮定して、この独占企業が最大の利潤を入手できるのはケーキ 1 個あたり  円の時である。

500

- [9] 【計算問題】社会全体の観点から、資本の平均回転速度を無視して（つまり総資本の平均回転速度 = 1 と仮定して）年間の一般的利潤率の基準を考えてみる。もし年間に生産される剰余価値（ $s$ ）が不変であるのに、前貸総資本（ $C+v$ ）が 2 倍になるならば、年間の一般的利潤率の基準は  倍になる。

0.5

1/2

- [10] 【計算問題】もし割引利率が 2% だとするならば、一年後の  円の割引現在価値は 100

万円である。

102万

△102：1点

論述（1問10点合計30点）

以下の問題の**すべて**に答えよ。答案用紙の余白に書くこと。順序は問わないが、どの問題に答えているのか、**必ず番号を書く**こと。

[A] (1)労働する前にコストを掛けて育成しなければならない労働力の支出である複雑労働は科学的知識の意識的・計画的適用においてどのように現れるのか、そして(2)そのような労働力はどのような形で他の労働力よりも多く支払われるのか、具体例を挙げて説明せよ。

(1)あらかじめ科学的知識を学習した知識労働力の支出である知識労働として現れる。(2)労働する前に必要な複雑労働力の育成にコストがかかる限りでは、その分のコストは修業費として労働力の価値に上乘せされる。

K：(1)：5点（うち、具体例は2点）

P：(2)：5点（うち、具体例は2点）

[B] 完全競争を想定し、またリスクプレミアムについては無視する。期待利潤率が高い部門と低い部門とがある場合に、どのような過程で期待利潤率が均等化していくのか、具体的に説明せよ。

利潤率が高い部門は資本が流入→供給増→市場価格下落→部門の利潤率下落

利潤率が低い部門は資本が流出→供給減→市場価格上昇→部門の利潤率上昇

S：供給の変化の要因：5点

P：価格の変化の要因：5点

[C] 信用創造とは何か、それはどういう過程で発生するのか、具体例を挙げて説明せよ。

信用創造とは市中銀行による、現金準備を越える要求払預金の創造である。要求払預金は信用貨幣として機能することができるから、それは信用貨幣の創造である。それは市中銀行による貸し付けの過程で発生する。すなわち、市中銀行が貸し付ける際には要求払預金の残高を増やすという形で貸し付ける。この場合には、現金準備は増えずに預金残高だけ増える。

D：預金創造：2点

P：過程：8点（うち、具体例は4点）